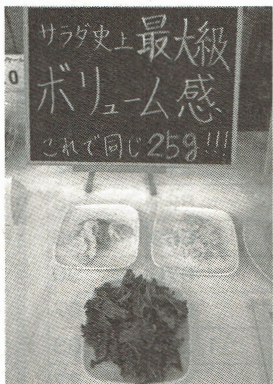


カンボローバ in TOKYO 2018

## イタリア 野菜 業務・加工用

トキタ種苗

トキタ種苗は13日、イタリア野菜の展示会「カンボローバ in TOKYO 2018」を第一ホテル東京シーフォート（東京都品川区）で開催した。30近くの生産団体が出展し、外食、中食、流通関係者ら約400人が来場し、活発な交流が行われた。



25gの「カーリノケール」を同量のレタスやキャベツと並べボリューム感を比較

行われた。

会場では、イタリア野菜の中でも特に人気の高い「カーリノケール」「カリフロール」「ラディッキオ」の3種類を中心とした、業務用規格の展示にも注目が集まった。飲食

いるメニューなど、食べ方を提案する試食も行われた。特にカリフロールを使用したフディングは、「スイーツにするのは新しいし、美味しい」と来場者から好評だった。

店や加工工場向けに流通している規格（5ギコンテナ、500g袋詰めなど）や、他の野菜との割合を7段階に分けてパック詰めしたコンビニサラタなど、実物を見せるための数々の工夫がなされていた。

また、同社がホームページにレシピを公開して

同社のイタリア野菜種子「グストイタリアシリズ」は現在30種類を超え、来春にも品種を追加する予定がある。生産者は全国に広がっており、同じ品種を「暑い時期は北の産地から、寒い時期には南の産地から仕入れることも可能」（同社担当者）だという。



会場では、ビーツのソーレヤルナといった品種や、スティッキオなどのイタリア野菜も展示